Кресту Твоему поклоняемся, Владыко, и святое воскресение Твое славим

小田原･平塚･ 修善寺･ 柏久保正教会だより
2019年7月1日発行 第203号

КРЕСТЪ クレスト

2019年7月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1
TEL/FAX：0465-22-2792 携帯 070-5079-3408
E-mail: holyspiritodawara@gmail.com
教団 HP: http://www.orthodoxjapan.jp/
小田原正教会 HP: http://odawara-orthodox.com/
郵便振替口座(小田原): 00270-6-15226

天の王、慰むる者よ、真実の神、在らざる所なき者、満たざる所なき者よ、万善の宝蔵なる者、生命を賜う主よ、来りて我等の中に居り、我等を諸の穢より潔くせよ、至善者よ、我等の霊を救い給え。

テサロニキの港から出港した船

ギリシャ北部にある古都、テサロニキ。ローマ帝国時代から賑わう港町である。新約聖書の中にあるフェサロニカ人(テサロニケ人)への手紙があるように、聖使徒パウエルはここを訪れて説教を行い、離れた後も書簡を通じてテサロニキの信者を激励した。多くの記録から、聖使徒たちは小さな船で地中海を渡りながら最初の宣教の旅を行ったようだと調査されている。

●五旬祭後第4主日聖体礼儀（第3調）

7月14日（日） 10:00～ (9:30 痛悔)
使徒経：ロマ 105 端(6:18-23)
福音経：マトフェイ 44 端(8:5-13)

7月7日(日)東京復活大聖堂にて全国公会が開催されるため、小田原でのご祈祷はありません。
7th of July, our parishes will not have any Sunday liturgy for Annual General Meeting held in Tokyo.

●五旬祭後第5主日聖体礼儀（第4調）・月例パニヒダ・信徒総会

7月21日（日） 10:00～ (9:30 痛悔)
使徒経：ロマ 103 端(10:1-10)
福音経：マトフェイ 28 端(8:28-9:1)

●五旬祭後第6主日聖体礼儀（第5調）

7月28日（日） 10:00～ (9:30 痛悔)
使徒経：ロマ 110 端(12:6-14)
福音経：マトフェイ 29 端(9:1-8)

◆信徒総会◆
―小田原教会―
本紙 P4 に公示と委任状があります。
―平塚教会―
本紙 P5 に公示があります。

教会（せいしん）～聖神に導かれる船～

天の王（てんおう）、慰（なぐさ）むる者（もの）よ、真実（しんじつ）の神（しん）、在（あ）らざる所（ところ）なき者（もの）、満（み）たざる所（ところ）なき者（もの）よ、
万善（ばんぜん）の宝蔵（ほうぞう）なる者（もの）、生命（せいめい）を賜（たま）う主（しゅ）よ、来（きた）りて我等（われら）の中（うち）に居（お）り、我等（われら）を諸（もろもろ）の穢（けがれ）より潔（いさぎよ）くせよ、
至善者（しぜんしゃ）よ、我等（われら）の霊（たましい）を救（すく）い給（たま）え。

4 月 28 日、私たちは復活祭を祝いました。人間と共におられた主ハリストスが地上を離れて升天する際、主ハリストスは「天に昇ったら神（かみ）・父が使徒たちに聖神を遣わしてくれるよう神・父に頼む」と再び使徒たちに言いました。（イオアン1 4：16・使徒 1：3－5）こうして復活祭から 50 日後、聖神降臨祭（せいしんこうりんさい）を迎え、その約束がそのとおりに為されたことを記憶しました。この日、私たちは使徒たちが行ったのと同様に膝まずいて祈り、私たちにも聖神が降（くだ）ることを祈りました。この聖神は主ハリストスのように目に見える姿を取らずとも、私たちと、私たちをとりまく全てを創造した神、私たちと共にいて下さる神、私たちを生かす神です。冒頭の祈祷文はこの聖神に向かって「私たちの中心にいて下さい」と祈っています。事を行う時、教会では聖職者も信徒も必ずこの祈祷文から始めます。聖体礼儀を含め全ての祈祷はこの祈祷文から始まり、教会で行う会合は全てこの祈祷文を唱え、又は歌ってから始まります。（ただし、復活祭から一定の祭日期間は異なります。）これは聖使徒の時代からの習慣を受け継ぐ正教会の伝統です。

教会を同じ信仰を持つ人々が集う船に例えてみましょう。船で進むとき、乗組員である聖職者も信徒も同じ方向を向いて進みます。祈祷を行っている時、聖所にいる私たちは聖職者の背中を見ながら祈っていることに気付くでしょうか。これは聖職者も信徒も皆同様に主の復活と再来を象徴である「日の出ずる方向」、東の方角を向いて祈っているからです。

世の海の中では解決すべき問題も逐次発生します。そのためには、連絡・統制がとれるよう、船の中で与えられた役割に従って、物事を決定します。その時にも、常にその集いの中心に神の導きがあることを祈ります。先の聖神降臨祭でも述べたように、集う一人ひとりの中にも聖神が降っていることを信じ、互いを尊重し合うことが求められます。仮に意見の相違があったとしても、相手の中の聖神まで不信に思うことはできません。船の中の会合は、祈りの中で議論を進め、その中からどのような方向性が妥当であるかを探り、然るべき立場の人たちがそれをまとめて、神によって集められた共同体としての議論の見解を出します。

これを教会の言葉で「公同和合（こうどうわごう）（Conciliarity（コンシリアリティー））」と言います。公同和合とは、正教会の本来の在り方です。神と神に繋がる互いの人々が、1つの共同体として神の意志を見出すことです。聖使徒たちがそうしたように、迫害時代に信者たちが密（ひそ）かにそうしたように、3 世紀から 8 世紀まで開催することができた全地公会議（ぜんちこうかいぎ）（全世界教会主教会議）でそうしたように、地域の小さな私たちの教会であっても、同様に「満たざる所なき」すなわち、世界に満ち満ちた聖神の働きを認識して信じて、私たちは教会という船が良き祈りの航海ができるように、神を恃（たの）み、叡智を尽くして、努力を続けていくのです。

司祭 ディミトリイ田中仁一

最近の出来事・消息

小田原　**聖神降臨祭聖体礼儀・屈膝晩課・　婦人総会** 6 月 16 日（日）は小田原教会の堂祭である聖神降臨祭を祝いました。この祭は「五旬祭」や「至聖三者の主日」とも呼ばれます。聖堂内はアジサイをはじめとする花々と緑色を聖神の色として、有志の信徒が聖堂内を緑のリボンとナデシコで飾って祭に備えて下さいました。聖体礼儀に続いて屈膝晩課を行いました。これは聖使徒らが共に膝を屈めて祈っているところに聖神が各人の上に降りたという聖使徒行実の記録から行うものです。午後には婦人会総会を行い、過年度の活動報告を受け、今後の婦人会の活動方針を 9 名の出席者で考えました。議事録は婦人会員に同封していますのでご高覧ください。

柏久保　**６月の境内地整備活動**　6 月 8 日（土）9 時 30 分より、柏久保教会境内地整備を行いました。この日は前日まで雨が続いたことから、雨天の場合の活動予定を曖昧にしていたため、降水がなかった当日、境内地整備のために 9 時 30 分に教会に来た人と、雨の場合に 10 時から行う予定だった感謝祈祷のために教会に来た人に二分しました。結果的には両方行いましたが、混乱があったことをお詫び申し上げます。雑草駆除とご祈祷の両方を行えたことに感謝致します。またその前日には学びの会も開催されました。

修善寺　**五旬祭後第７主日聖体礼儀**　6 月 9 日（日）10 時より、聖体礼儀を行いました。ご祈祷を終えてすぐ、予定にはありませんでしたが、啓蒙所にて信徒会館成聖式について話し合いを行いました。ご祈祷後空腹のまま、1 時間以上も話し合いにご協力くださり、ありがとうございました。

平塚　7 月 13 日（土）、窪田幸夫兄宅を開放して頂いて信徒総会を開催します。詳しくは 5 ページをご覧ください。

教区　6 月 23 日（日）午後 2 時から東京ニコライ会館にて 2019 年度東京大主教区　教区会議が開催され、小田原教会から 2 名、修善寺教会から 2 名の信徒が出席しました。またその日の東京復活大聖堂教会での聖体礼儀には聖歌奉仕として 4 名の信徒が奉仕しました。

永遠の記憶　6 月 13 日（木）、函館ハリストス正教会管轄の長司祭ニコライ ドミトリエフ師が急逝されました。59 歳でした。ニコライ師はロシアのモスクワ出身で、日本の教会で 20 年近く奉職されました。6 月 17 日 18 日に函館ハリストス正教会にてセラフィム大主教様のご司祷により前晩パニヒダ及び司祭埋葬式が執り行われました。神がニコライ師に永遠の記憶を賜りますことを心よりお祈りいたします。

2019年6月30日

信徒各位

宗教法人　小田原ハリストス正教会
代表役員　司祭ディミトリイ田中仁一

公　示

至聖三者の御名に由りて、ご平安お祈り申し上げます。

宗教法人小田原ハリストス正教会規則第一七条に基づき、2019年度小田原ハリストス正教会信徒総会を下記のとおり開催します。

記

日時：2019年7月21日（日）聖体礼儀後
場所：小田原ハリストス正教会信徒会館

(1) 2018年度小田原ハリストス正教会活動報告
(2) 2018年度小田原ハリストス正教会決算報告
(3) 会計監査報告
(4) 2019年度小田原ハリストス正教会活動計画
(5) 2019年度小田原ハリストス正教会予算案
(6) 2019年度会計監事の選任
(7) 責任役員の改選
(8) その他

以上

欠席される方は委任状の提出を必ずお願い致します。
郵送・ＦＡＸ・Ｅメールにて受付。　〆切 7/21 正午。

キリトリ線

委 任 状

宗)小田原ハリストス正教会御中

私は、2019年7月21日(日)に行われる「2019年度小田原ハリストス正教会信徒総会」を欠席いたします。ついてはこれに際し、委任状を提出し、決議の一切を議長に委任いたします。

2019年＿＿＿月　＿＿＿日

聖 名＿＿＿＿＿＿＿＿　姓 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

送付先 FAX:　0465-22-2792/email: holyspiritodawara@gmail.com

平塚教会信徒総会

公示

日時：2019 年 7 月 13 日 (土) 10:00～12:00

場所：窪田 幸夫兄 宅

2019 年度信徒総会を行います。平塚教会の信徒の皆様、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

平塚ハリストス正教会
管轄司祭 ディミトリイ 田中 仁一

全国公会

日時：2019 年 7 月 6 日（土）～7 日(日)

東京復活大聖堂・ニコライ会館

※柏久保・修善寺各教会での聖体礼儀はありません。

※小田原教会での代式祈祷はありません。東京復活大聖堂での

ご参祷をお勧めいたします。

The 6th and 7th of July 2019, all parishes in our area will not have any Liturgical services because of the annual assembly of Orthodox Church in Japan summoned at Holy Resurrection Cathedral in Tokyo where you are recommended to attend at.

■定額献金納付にご協力くださり、心より感謝申し上げます。さっそく皆様からのご協力を賜っておりますが、定額献金領収の証は献金袋の表面の領収印です。会報の献金報告には掲載されませんので、予めご了承ください。

献金報告　　6/20 現在　日付は会計処理日です。ありがとうございました。

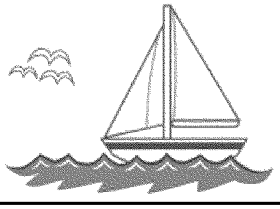
日付	氏　　名	摘　　要
5/26	山本　保兄	復活祭献金
	千葉　清明兄	降誕祭献金
	千葉　清明兄	復活祭献金

婦人会献金：

日付	氏　　名	摘　　要
6/3	神谷　武夫兄	感謝として

【2019年7月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	主日調/聖書の読み
1	月		全国公会 聖体礼儀 2019年7月7日（日） 9:30～ 東京復活大聖堂 Divine Liturgy with Annual Assembly of Japan at Holy Resurrection Cathedral 9:30 7th of July, 2019
2	火	[東京]	
3	水	[東京]	
4	木	[東京]	
5	金	[東京]	
6	土	[東京：全国公会]　小田原での祈祷なし No evening service at Odawara	
7	日	[東京：全国公会]　小田原での祈祷なし No Divine Liturgy at Odawara 前駆イオアン誕生祭(中祭)	
8	月	[東京：健康診断]	7/14　第3調 使徒経：ロマ 6:18-23 福音経：マト8:5-13 ●婦人会昼食当番 昼食はありません
9	火		
10	水	[東京]	
11	木	[東京]	
12	金	[東京] 聖ペトロ・パウロ祭(中祭)	
13	土	**平塚　信徒総会（10:00）　主日前晩祷（17:00）**	
14	日	**五旬祭後第4主日聖体礼儀（10:00）**	
15	月	海の日	7/21　第4調 使徒経：ロマ 10:1-10 福音経：マト8:28-9:1 ●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう ●糖飯当番 日比野恵美子姉
16	火		
17	水	[東京]	
18	木	[東京]	
19	金	[東京]	
20	土	**主日前晩祷（17:00）**	
21	日	**五旬祭後第5主日聖体礼儀・月例パニヒダ（10:00）・信徒総会**	
22	月		7/28　第5調 使徒経：ロマ 12:6-14 福音経：マト9:1-8 ●婦人会昼食当番 昼食はありません
23	火	[廻家祈祷：御殿場]	
24	水	[東京]	
25	木	[東京]	
26	金	[東京]	
27	土	**主日晩課（17:00）**	
28	日	**五旬祭後第6主日聖体礼儀**	
29	月		
30	火	[東京]	
31	水	[東京]	



＊[　　]内は司祭または教区の活動　＊

＊聖体礼儀に参祷し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう＊

＊ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。＊

7月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
31日	長司祭イヤコフ	山口　精一	1953年	山口　晃
2日	マリヤ	重田　スエ	1972年	重田　博
3日	イオフ	岩本　仙治	1993年	岡野　康子
6日	ソフィヤ	神谷　ハマ	1998年	神谷　幸夫
6日	イヤコフ	村松　彌幸		村松　伸子
7日	イリナ	神谷　和子	1939年	神谷　武夫
9日	イリヤ	加藤　憲一	1990年	加藤　宏
9日	コンスタンチン	安達　東吾	1972年	安達　紀彦
9日	イオシフ	石川　芳雄	1913年	石田　浩一
12日	シメオン	日比野 長吉	1909年	日比野　勇
13日	ニーナ	世古　恵子	2014年	神谷　幸夫
14日	ソフィヤ	日比野 ハル	2001年	日比野　勇
16日	アガフィヤ	高橋 ならし	1951年	松川　ゑみ
17日	ニフォント	廣石 與志雄	2008年	廣石　清子
20日	ウエラ	假野　うら	1913年	假野　美枝
21日	リンマ	長澤　むら	1943年	
21日	サヴィン	日比野　一郎	1988年	日比野 正男
23日	ワシリイ	阿久津　潔	2009年	阿久津 八重子
25日	アキラ	加藤　　章	2003年	
26日	ワッサ	日比野 ワサ	1908年	日比野 正男
27日	ユリヤ	山本　聖子	1990年	山本　保
27日	ソフィヤ	重田　タマ	1926年	重田　博
30日	アナスタシア	百瀬 美智子	2008年	百瀬　久
	ザハリア	横田　道也	2013年	横田　祥子
31日	フェオドラ	秋山　ふみ	1990年	山口　晃
31日	ミヘイ	神谷 徳次郎	1896年	神谷　武夫
		日比野　健一	2017年	日比野 俊二

今月は第 3 週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの霊(たましい)が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。（月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。）

光栄にして讃美たる首座の聖使徒
ペトルおよびパウエル

記憶日７月12日/6月29日（新暦）

教会歴７月 12 日は聖使徒の代表とも言える二人、聖ペトルと聖パウエルを記憶して祝う。右図はその祭のイコンで、右が聖使徒パウエル、左が聖使徒ペトルである。ラファエロはこのイコンから発想を得て「アテネの学堂」を描いたという説もあるが、それはともかく、なぜこの２人は教会を持っているのだろうか。

ペトルはガリラヤの北部に位置するベッサイダ出身。貧しい漁師の家に生まれ、兄弟のアンドレイと共に家業を継いでいた。彼らが漁を行なっている時に主ハリストスが訪れ、２人を弟子とした。ペトルは弟子達の中で最初に主ハリストスを「あなたは生ける神の子、救世主だ」と明言し、また最も熱心で主ハリストスを愛した。そのようなペトルに対し、ある時主ハリストスは「あなたは私を３度知らないと言い、その時ニワトリが鳴くだろう」と言った。ペトルはそのようなことを私がする訳がないと答えたが、主ハリストスが捕らえられて裁判が行われている間に、この裏切りの言葉が発せられてしまう。ニワトリが鳴いたとき、ペトルはそれを思い出し、恥と後悔のために裁判所から逃げ出してしまった。

十字架に架けられて３日後に復活したハリストスはその 40 日後、天に昇った。ハリストスが使徒達に約束した通り、その日から 10 日後に聖神が使徒に降った。気弱で無学なペトルも聖神の力を受け、恐れ知らずの力強い福音の説教者となった。彼がイエルサレムで初めて群衆に福音を述べると一度に 3000 人がハリストスを信じた。さらにペトルは、パレスチナ、小アジア、イタリアへと宣教の旅を続けた。ある時「我は神の技によって奇跡を行える」と自称する男、シモンと会う。彼が実際は悪魔の力によってそれを行なっていることを見抜いたペトルはシモンを打ちのめした。そのシモンの友人でキリスト教徒を迫害する皇帝ネロはすぐさまペトルを捕えた。投獄されている間にペトルは自分の後継者としてリヌスをローマ地域の主教に据えた。ペトルは十字架刑に処せられることとなったが、「私は主と同じ刑で処せられるに値しない」と言って、敢えて逆さ十字に掛かって致命した。

主ハリストスの弟子として最も知られている聖使徒ペトル。ペトルとは「岩」を意味する。主ハリストスが言ったように、その「岩」の上には教会が建てられた。それは建物だけを意味するのではない。聖神を受けて力強く福音を述べた聖使徒達の後継者として各地域に置かれた主教を中心に集うキリスト教徒の群れそのものを意味している。毎回の聖体礼儀で唱える信経で「聖なる公なる使徒の教会」とはこれを意味する。このイコンの中央に記された教会はそのシンボルである。

７月 12 日、教会はペトルと共に、もう１人の力強い説教者で彼と全く性格や出生をまったく異にする聖使徒パウエルを記憶する。聖使徒パウエルの話はまた次の機会にしたい。